

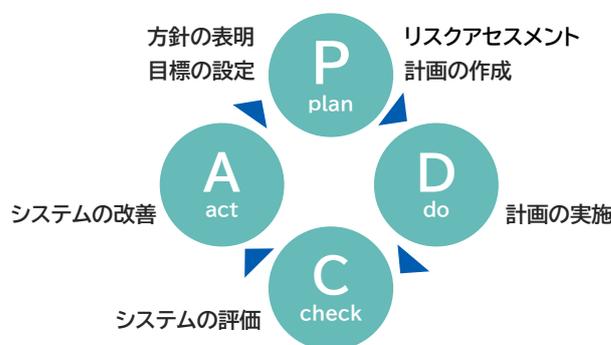
放射線被ばく管理に関する 労働安全衛生マネジメントシステム 導入支援事業のご案内

放射線業務を行う
医療機関必見

改正電離放射線障害防止規則が令和3年4月に施行され、眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が大幅に引き下げられました。法令遵守を前提とし、放射線業務従事者の被ばく低減に組織的に取り組んで健康障害を防止するためには、労働安全衛生マネジメントシステムの活用が有用です。

厚生労働省の第14次労働災害防止計画に「医療機関に対して、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの導入を支援する」と明示されています。

本事業では、研修等(詳細は裏面をご参照ください)を通じて放射線管理体制の強化を支援します。



放射線MSを導入したことによる好事例

- ◆ 放射線防護検討委員会の発足や、衛生委員会の委員に放射線管理室の職員が任命されるなど、体制の改善が図られた。
- ◆ トップマネジメントにより、放射線安全委員会、衛生委員会、医療放射線安全委員会により放射線管理を行っており、監査や細かいところのリスクマネジメントなどがMSにより改善された。
- ◆ 研修会で提供された文書をもとに機関の実情に合わせながら、放射線MS運用に必要な書類等を作成している。



撮影室の近くにラックを設置して個人線量計や防護メガネ等を装着する流れを作った例

当事業では
好事例を発掘して
配信しています。
詳しくはこちら▼



※放射線MSとは、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの呼称

お申込み

事前の参加登録が必要ですので、左記厚生労働省のウェブサイト「研修等申込み」よりお申込みください。

ウェブサイト

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>



X (旧Twitter)

アカウント名: MS導入支援事務局
@rad.ms2022



お問い合わせ | 厚生労働省放射線MS担当 TEL: 03-3830-0720 (直通) メールアドレス: ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが 関係機関の協賛・協力を得て実施するものです。

協賛: 公益社団法人日本診療放射線技師会、
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会



公益財団法人
原子力安全技術センター



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

放射線被ばく管理マネジメントシステム導入支援 イベント内容

基礎研修

9,10月
開催

第1回

労働安全(法)と
放射線MSの仕組

9月30日(月)
13:00~16:00

第2回

目標、計画の設定

10月7日(月)
13:00~16:00

第3回

監査、改善

10月21日(月)
13:00~16:00

専門研修

10月
開催

内部監査の視点、
計画、実施、報告、および
内部監査員の育成 等

初めて参加の方

内部監査の概要と計画

参加経験のある方

監査のPDCAと監査員育成

※ 本研修は参加経験の有無にかかわらず、
上記の内容が含まれています。

10月28日(月)

講義

13:00~16:00

演習

16:00~17:30

報告会

2月
開催

放射線MS導入、
運用の好事例の報告と
有識者等による討論

初めて参加の方

放射線MSの取り組み事例

参加経験のある方

放射線MSの改善を学ぶ

※ 本報告会は参加経験の有無にかかわらず、
上記の内容が含まれています。

2月20日(木)

13:00~16:00

※ お申込みいただいた方へ開催1ヶ月前頃
にZoomウェビナーへの参加登録のため
のご案内をいたします。



予定講師(基礎研修、専門研修)

梶木 繁之

株式会社 産業保健コンサルティングアルク 代表
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 福岡支部副支部長
(労働衛生コンサルタント)
産業医科大学 産業衛生教授
TC283 国内審議委員会委員、ISO45001審査員

- ※ 日本診療放射線技師会の生涯教育システム(カウント付与)対象です。(報告会は対象外)
- ※ 当日参加できなかった方は、後日Webサイトで録画映像の視聴が可能です。
- ※ テキストや作業マニュアル等については、サイトよりダウンロードが可能です。
- ※ 参加費は無料です。
- ※ 国が推進している本研修等の参加をきっかけに、多数の事業場が放射線MSを導入して成果を出しています。
- ※ 都合により、内容等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。